

2018.3.2

# 性虐待被害者のための祈りと償いの日

性虐待被害者の痛み、苦しみに寄り添い、祈りと償いのうちに共に過ごしましょう

2002年、米国のボストンで聖職者による子どもへの性虐待事件が報道され、世界各地で同様の事件が明るみに出ることになりました。

教皇フランシスコは、教皇庁に新しく「児童を守るための委員会」を設立し、教皇自らがこの問題に真剣に取り組む姿勢を示されると同時に、全世界の教会がこの問題に真摯に向き合うように促しておられます。

教皇フランシスコは、全世界の司教団に向けて、「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けるように通達され、日本ではこの日を「四旬節第二金曜日」と決めました。

性虐待被害者のための祈りと償いの日の集い in 長崎

2018年3月10日（土） 13:00-16:00

長崎カトリックセンターホール

## 〈プログラム〉

13:00 開会あいさつ

「長崎大司教区の取り組みについて」  
高見三明大司教（長崎大司教区大司教）

「性虐待被害者のための祈りと償いの日の  
設定について」  
松浦悟郎司教  
（子どもと女性の権利擁護のためのデスク責任司教）

13:30 講演  
中島幸子さん（NPO 法人レジリエンス代表）

15:30 祈り  
16:00 閉会

中島幸子さんプロフィール

NPO 法人レジリエンス代表

暴力被害にあった経験をきっかけに、トラウマの影響、被害者支援等について学び、米国の大学院にて法学博士号、ソーシャルワーク（社会福祉学）修士号を取得。  
2003年、日本で「レジリエンス」を結成、暴力の影響を理解しトラウマに対応する方法を学ぶための「こころのcare講座」をスタート。当事者としての視点としての経験を踏まえ、毎年、DVや性暴力被害、トラウマの影響、被害者支援に求められることなどをテーマに、全国各地で多数の講演を行う。主な著書に、「性暴力 その後を生きる」（レジリエンス、2011）他多数。

共催 カトリック中央協議会 子どもと女性の権利擁護のためのデスク TEL 03-5632-4461  
カトリック長崎大司教区 子どもと女性の人権相談室 TEL 095-865-7829  
（※不在時対応：留守番電話）